

NPO法人コンカリーニョ 2015 年度事業報告

1. 事業の成果

コンカリーニョ 10 周年の節目の年度にあたり、2015 年度前半は、理事・職員がともにこれまでの活動を振り返り、改めて経営理念を考え、意見交換することで、自分たちの目指すところを明確に共有することができた。またボランティアの人たちとの協働を模索することで、コンカリーニョ 10 周年に向けての準備のよき半年となった。年明けから、10 周年記念誌協賛活動・編集作業、第 10 回住民劇に一丸となって取り組み、10 年間の活動を振り返るための有意義な成果を上げることができた。

「資源（資金・人・ネットワーク）増強」を掲げた満 10 歳記念 year（2016 年 1 月 1 日～12 月 31 日）、資金獲得は、目標のほぼ半分、一丸となって事業にあたる体制ができつつあるが、会員を増やすための具体的な対策は打てず。また、情報共有に関する課題、それぞれのセクションにかかわれる仕組み、情報をオープンにし、みんなが参加できる企画づくりの必要性が問われている。

<2015 年度トピック>

・ 経営理念策定

【目的理念】 私たちは、芸術文化活動を通じ、地域とともに歩む夢の実現場所を目指します。

私たちは、交流と創造の場をつくり、文化のリーダーを目指します。

【行動理念】 私たちは、仲間との信頼を大切に、地域と芸術文化の橋渡しをします。

私たちは、舞台芸術の発掘・育成・発信に挑戦し続けます。

- ・ 10 周年記念誌、第 10 回住民劇の活動に各方面より多額の支援（約 250 万円）を受け、成功した。
- ・ ボランティア活動の活性化のために、担当職員（高橋・米澤）制をしいた。

【2015 年度の活動で協賛、助成等ご支援を受けた団体】

（公財）北海道文化財団、伊藤組 100 年記念基金、札幌市さぼーとほっと基金[オークまちづくり元気基金]、市内企業・地域商店等 98 件

2. 事業の実施に関わる事項

（1）特定非営利活動に係る事業 【 】内の番号は、特定非営利活動に係る事業内容（添付資料最終頁参照）

I. 施設運営事業 【①⑥】

事業費 41,776 千円

A) 生活支援型文化施設コンカリーニョ

稼働率は昨年より 5.6%増の 59.3%。コンカリーニョ単館での事業収入も 11.7%増と、伸びを見せている反面、備品、設備の修理購入費用がふくらんだことも影響して、収支的には単体ではマイナスとなった。

新規企画の開拓やその参加者による二次的な利用により、稼働率が一定の伸びを示したことは事実だが、反面、稼働率が伸びてきているという日常的な実感に甘んじ、そこから一歩先の対策を講じることを怠ってしまったことも否めず、現状に満足することなく、更なる対策を継続的に提案していく必要があった。

また、経営理念を作成する過程が、法人のみならず劇場としての存在意義や使命、目的などを職員それぞれが再確認する機会となり得たことは、劇場の運営に対しての意識を高めるきっかけとなり、非常に有

		前年度比
利用率	59.3%	5.6%増
プログラム数	56 本	9 本減
総利用者数	22,917 人	25.7%増
事業費	15,573 千円	9.6%増

意義だった。

B) ターミナルプラザことにパトス 【⑥⑭】

新規利用のリピーター化、およびリピーターの継続を目指すための姿勢を第一に、最高を記録した前年度のホール稼働率の維持を目指した。昨年度には及ばないものの順調な稼働となった。

スタジオの利用は目標予算には届かなかったものの、新規利用は84組あり、稼働も前年度を2.4%上回った。

今後は新規をリピーターにつなげることが重要となる。また、イベントとの兼ね合いはあるものの、ギャラリー単体の利用も伸び悩んだ。

「パトスのチャリティコーヒーコーナー」への募金により、ロビーカーペットの張り替えや、カウンターの色の変更などを行うことができた。以前のパトスを知るお客様には好評をいただいている。また、ポストカードなどの小物やCDの販売コーナーを設置し、お客様が足を止める場面が見られるようになった。認知度が低いので、今後は販売物やコーナーの告知にも力を入れていく。

		前年度比
利用率	61.1%	2.2%減
プログラム数	108本	14本減
総利用者数	20,794名	16.9%減
事業費	6,937千円	9.4%増

1. 自主企画

[年間ブッキングライブ3回・カフェコンサート6回開催]

パトスを広く知っていただき利用促進を目指して始め、開始から5年を迎えた。カフェや受付、ステージの各スタッフのボランティア希望を募り、出演者だけではなく、スタッフとしてもイベントに触れられる企画となっている。幅広い年齢と様々な出演内容により、お客様や出演者とのつながりができ、スタジオの利用にもつながった。スタッフの募集を今後も広めていく。

2. 「きらめくパッチワーク事業」

パッチワーカー（お客様、理事、カリット等、様々な立場から成る、パトスを使ってやりたいことやパトスの今後を考え、関わってくれる仲間）によるパトス活性化を目指して2013年度より始めたこの企画は、3年間、毎月ほぼ欠かさず「パッチワーカーズ・サロン」を実施し、様々な「想い」の共有や、案の出し合い、イベントへの打ち合わせをしてきた。

「カフェ付きイベント」を軸として、「人狼ゲーム会」の開催や「カフェコンサート」「オープンステージ」と協働し、前年度と今年度6月には、障がいのあるパッチワーカーの強い想いによりが所属している事業所と協働してライブイベントを開催した。外部でのライブ経験がなかった方々が舞台照明とお客様の声援を浴びながら演奏し、事業所のスタッフさんが涙を浮かべる場面もあった。また、お客様として来ていた劇団主宰の方が後に芝居を作り、受賞している。

その他、実現はしなかったものの様々な企画案が出され、ホールレンタルイベントにカフェを出すこともあった。

パッチワーカーの当初持っていた想いを聞くことでパトスを客観的に見ることができ、また、メンバー一人一人ではできないことをパッチワーカー同士の協力により実現した。最後の1年はメンバーが少数固定した状態であり、メンバーの想いが満たされ、この事業の役目を終えたと判断し、6月のイベントの反省会をもって事業を終了した。

C) あげぼのアート&コミュニティセンター 【⑦⑭】

第2期管理運営期間の3年目にあたり、稼働率の向上と共に、芸術文化活動の拠点への発展的目標として、各室の多様なジャンルによる利用活性化、職員の企画を中心とした地域向け自主事業による交流促進に取り組む、ある一定の成果が得られた。

		前年度比
利用率(長期) (一般貸室)	84.3%	6.4%増
	51.1%	8.8%増
総利用者数	51,410人	9.9%増
事業費	19,266千円	12.0%増

長期貸室は新たな入居団体も増え、4つの空き室は、映像ロケ、スポーツ、子供向け教室等、更に多様なジャンルに利用され、一般貸出スペースも、音楽室、特に交流室の稼働が増えた。

施設改善としては、昨年度の網戸設置に続き、体育館内に配電盤を保護する為の防球ネットを設置し、また入居室の壁の補修なども実施した。札幌市との間では、新たに「グラウンド利用規定」として、グラウンドは地域の子供が自由に集い、交流することなどを目的として設置している、と定めた。近隣への配慮としては、体育館利用団体のマナー向上に努めた。

主な事業		
7月13日	範宙遊泳ワークショップ	39名参加
7月26日	カップケーキ講座	14名参加
7月30日	アイシングクッキー講座	12名参加
8月2日	曙地区連合町内会 サマーフェスティバル 2015in 曙(実行委員会主催)	1,500名参加
8月4日・22日	マスキングテープデコレーション講座 2回	11名参加
8月28日	太極拳体験講座	2名参加
9月11日～	あげぼの限界まちのかたりベ育成講座	
10月16日	(毎週金曜 全6回)	5名参加
10月18日	かたりベ育成講座 成果発表会	14名参加
9月10日	殺陣ワークショップ①	12名参加
9月17日	殺陣ワークショップ②	12名参加
10月1日	殺陣ワークショップ③	11名参加
2月4日	殺陣ワークショップ④	15名参加
2月18日	殺陣ワークショップ⑤	18名参加
12月20日	あげぼのDEクリスマス会	17名参加
12月27日	餅つき大会	21名参加
6月5日	あげぼの音楽祭	39名参加
通年	○あげぼのファーム活動 2団体、6個人登録 4月下旬～10月中旬 畑作業およびミーティング ・5月中旬 保育園 種芋植え 30名参加 ・5月30日、6月7日 種、苗の購入と植え付け 5名参加 ・8月中旬 保育園 芋ほり 30名参加 ・10月10日 収穫祭交流会・畑の振り返りの会 6名 ・3月12日 畑 野菜作り勉強会&交流茶話会 10名	
	○図書ボランティア 12名登録、総利用登録182名、 蔵書3,976冊 年間貸出書籍数 802冊、総利用者数 748名 8月2日 絵本で語る平和の集い	27名参加

○入居者会議 奇数月第2水曜日定例(6回)

○地域連絡会 2回(10月29日、4月21日)

○曙通信発行 曙まちづくりセンターと共同編集、連合町内会で回覧 4回(8月、10月、2月、5月)

II. 企画事業【①②⑥⑦】

事業費 5,406 千円、総来場者数 13,320 名

7月17日～19日	y h s 「WORLD IS MINE」(レジデント提携)	5ステージ 437名来場
8月8日・9日	劇団あおきりみかん「だるい女」(from名古屋、道外応援) 事前WS(6月22日)	2ステージ 153名来場
8月6日～14日	札幌演劇シーズン2015夏 imtro「蒸発」@パトス	8ステージ 621名来場
8月13日～23日	札幌演劇シーズン2015夏 イレブンナイン db「12人の怒れる男」	15ステージ 2,316名来場
8月28日～30日	劇団fire works「大きな島の木の下で」 [共催]	5ステージ 345名来場
9月1日	JCDN「踊りに行くぜ」Cプログラム公開選考会「ダンス、バトる。」	1ステージ 123名来場
9月11日・12日	範宙遊泳「少女X」「楽しい時間」(from東京、道外応援) 事前WS@あけぼの(7月13日)	2ステージ 156名来場
9月26日・27日	コンカリ秋祭り	2日間 300名来場
10月3日	赤丸急上昇「太陽と月」(from松山、道外応援) 事前WS@パトス(9月2日、28日)	1ステージ 61名来場
10月18日	新田昌弘(津軽三味線)×しんた(和太鼓)10周年記念コンサート 「軌跡」 [共催]	1ステージ 190名来場
11月1日～3日	ニットキャップシアター「こんなにもお茶が美味しい」 (from京都、道外応援) 事前WS(9月16日)	3ステージ 138名来場
11月20日 ～11月22日	琴似屯田兵入村140周年記念事業実行委員会「会津藩、かく戦へり」 [参画実行委員会主催]	5ステージ 887名来場
1月7日	新春!!うきウキ!もちつき大会!!	96名来場
1月10日	ハシモトコウ新春アワー	1ステージ 307名来場
1月16日	JCDN「踊りに行くぜ!! II」vol.6札幌公演 [平成27年度文化庁新進芸術家育成事業]	2ステージ 280名来場
1月23日～1月30日	札幌演劇シーズン2016冬 弦巻楽団「キャント・ハリー・ラブ」	10ステージ 1,327名来場
2月6日～13日	札幌演劇シーズン2016冬 y h s 「しんじゃうおへや」	9ステージ 1,263名来場

3月12日、13日	指輪ホテルシーの包丁」(from 東京)[共催]	3ステージ 210名来場
3月26日、27日	みんなで創ろうぜ！不破大輔と一緒にぐちゃぐちゃ楽しいコンサート [助成：(公財)北海道文化財団]	2日間 40名参加
4月8日～10日	第10回生活大骨董市	3日間 700名来場
4月28日～5月1日	遊戯祭‘16「聴かせておくれ清志郎」	15ステージ 1,516名来場
5月28日	満10歳！お誕生日イベント「ハピてん」	1ステージ 104名来場
6月10日、11日	IINDEPENDENT 3rd Season Selection / JAPAN TOUR 札幌予選会@パトス	3ステージ 151名来場
6月14日～18日	co;dEBoo (コデブー) vol.1「れっとうのはて」 [共催]	6ステージ 860名来場
6月25日、26日	第10回住民参加温故知新音楽劇 「マスト・ゴウ・オン (Must Go On) —コンカリーニョ誕生秘話—」 [助成：(公財)北海道文化財団、伊藤組100年基金、協賛24件]	4ステージ 739名来場

主催事業11本、参画実行委員会主催5本、提携共催9本

Ⅲ. 出前派遣事業

事業費 7,789 千円

○技術制作派遣【①②④⑩】

はこだて民族芸術祭、北海道文化財団舞台芸術情報フェアほか

○講師派遣【③④⑤⑨⑩】 コミュニケーション教育事業（篠路中）

○コーディネート事業【②⑦⑨⑩】 チカチカ☆パフォーマンススポット、北海道特殊詐欺防止啓発事業

Ⅳ. 共通事業【①⑬】

事業費 2,479 千円

○コンカリーニョ10周年記念誌発行 頒価1,000円*1,500部

○おらコン通信の隔月会員郵送(隔月200部*6回)

○メールニュース、メルマガ発行(月1~2回 400名*15回)

○内部ミーティング

役員会：定例奇数月第2月曜日19:00～ 6回

カリットミーティング：定例毎月→各月第4水曜日19:00～ 9回

企画会議：偶数月開催 4回

(2)その他の事業 該当なし